



あさがお 栽培のポイント



梅雨・夏時期に見られる、病気や害虫について

梅雨時期に多く見られる病害虫

植物にとって、ジメジメ暑い環境は、病気が多発する嫌な時期です。できるだけ風通しの良い場所に置きましょう。殺菌剤を用いるなど病気の予防に努めるのも良い方法です。

	多い症状	原因と対策
べと病	葉に斑点がでる。広がると葉が黄色くなり枯れてくる。	ダコニールが一般的な殺菌剤。[ボトリチス]にはオーソサイドが効きますが臭いがきつい為、おすすめはできません。
ボトリチス	葉に斑点がでる。葉が溶けたように黒くなる。葉が枯れてくる。	ダコニールが無いようでしたら、リドミル水和剤などでも構いません。左記の3つの病気は空気伝染です。まだ症状が出ていない株が有っても予防の意味で、全ての児童の株に散布するのも良い方法です。
褐色斑点病	葉に斑点がでる。広がると葉が黄色くなり枯れてくる。	殺菌のあとは液肥を与え、新葉の発生を促し株に力をつけます。

夏時期に多く見られる病害虫

	多い症状	原因と対策
水切れ	水が切れるとシナシナになり、葉先から茶色く枯れる。	花が咲く頃、暑い時期は特に水やりを忘れないよう注意する。
根づまり・根腐れ	葉が茶褐色になり葉脈に沿ってアザのように紫色になる。	健全な株数にし、根が正常に伸びるようにする。水のやりすぎに注意する。
花が早く咲く	つるが伸びず、小さく花が咲く。	肥料切れ外的な環境ストレス。成長の競争負け。つるが伸びず小さな花が咲いたら、芽から摘む。液肥を与える。
花が咲かない	葉ばかり茂り、花が咲かない。	肥料のやりすぎ、チッソ過多。下から水が流れ出るまで水をやり、できるだけ土内の肥料を抜く。
ハダニ	葉脈から液を吸う。	乾燥・高温時に多発する。ダニの繁殖力は強く、広がるので早期駆除が大切です。
ホコリダニ	白い斑点、除々にその部分は褐色に変色。	極めて初期であれば、葉の裏に水をしっかりかけると良い。定期的に葉裏に水をかけることで予防になります。薬:粘着でんぶん剤、マラソン水和剤
アブラムシ ヨトウムシ	葉を食害、吸汁で株が弱る。	薬:オルトランが有効
ナメクジ	葉を食害。	葉がかじられていて、キラッと光る筋があればナメクジの足跡です。ナメクジ退治の薬が有効。

※液肥や殺菌剤の取扱いは、先生や大人が扱うようにしてください。

夏休みの管理について

- 花が次々と咲く時期です。水やりはしっかり行いましょう。
- 水やりは真昼は避け、涼しい時間帯に行いましょう。
- 地面の照り返しがきつい場所は避けるようにしましょう。